

今後の進め方について

令和元年9月
国土交通省海事局

【検討事項（案）】

➤健康診断の見直し

- 従来の健康証明との関係、義務の対象者、実施時期、種類、項目など
- 健康診断の事後措置（結果通知、保健指導等）の具体的な内容など
- 健康診断の実施機関の確保

➤メンタルヘルス対策、ストレスチェックの実施、長時間労働者に対する指導

- 義務付けのあり方、具体的な措置の内容など

➤医療相談、日常の健康管理、遠隔診療などへの情報通信技術の活用

➤船員への産業医制度の導入

- 船員向けの産業医の役割、指定医、船医や衛生管理者との関係など

議論すべき事項(案)

- 船員の健康状態を把握し、適切に健康管理が行われるよう、健康診断をどのように(義務の対象者、実施時期、項目等)実施し、従来の健康証明をどう活用するか。また、健康診断の実施機関の確保に向けて、どのような取組を行うか。
- 健康診断の事後措置(結果の通知、保健指導等)について、具体的な内容や方法どのようにするか。
- 陸から隔絶された船内においても、健康状態の把握や面接指導等を実施するため、情報通信技術を活用するためのシステムをどう構築して活用するか。また、船内での急病人発生時等の対応について、通信を活用した仕組みをどう普及するか。
- メンタルヘルス対策、長時間労働者に対するストレスチェックや指導をどのような方法で行うか。
- 船員向けの産業医制度についてどのように導入するか(船員向けの産業医の役割、指定医、船医、衛生管理者や衛生担当者との関係など)。

検討のスケジュール(予定)

令和元年9月

第1回 ・座長選出
・現状の共有
・意見交換

10月

第2回(有識者等プレゼン・ヒアリング)

内航船視察(有識者中心に内航船の実態を視察)

11月～4月

<論点ごとの議論>

5月～6月

<取りまとめに向けた議論>

令和2年夏頃

方向性取りまとめ → 船員部会に上申